

平成 26 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 セイコーエプソン株式会社
代表者名 代表取締役社長 碓井 稔
(コード番号：6724 東証第一部)

平成26年 3 月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成25年10月31日に公表しました平成26年 3 月期通期連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、期末配当につきましては、平成26年 6 月中に開催予定の定時株主総会に付議のうえ決定する予定です。

記

1. 平成26年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想（A）	百万円 960,000	百万円 58,000	百万円 55,000	百万円 34,000	円 銭 190.06
今回修正予想（B）	990,000	79,000	74,000	52,000	290.68
増減額（B－A）	30,000	21,000	19,000	18,000	－
増減率（％）	3.1	36.2	34.5	52.9	－
（ご参考）前期実績 （平成25年 3 月期）	851,297	21,255	17,629	△10,091	△56.41

（業績予想修正の理由）

当社グループの最大の商戦期である第 3 四半期（10月～12月）において、情報関連機器事業では上期に引き続きインクジェットプリンターやプロジェクターなどの販売価格維持に取り組むとともに、インクジェットプリンター消耗品の販売が欧米市場で好調に推移したほか、各事業でのコストダウンや固定費の効率的な執行による成果に加え円安効果もあり、全社としての業績は計画を大幅に上回る結果となりました。

第 4 四半期（1 月～3 月）においては、情報関連機器事業はインクジェットプリンター事業を中心に引き続き戦略の進捗による成果が見込まれます。そのうえで、足元の為替動向を踏まえ、前提為替レートを 1 米ドル：100円、1 ユーロ：140円に見直したことにより、全社としての業績は従来の計画を上回る見通しとなりました。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想につきましては、上記 1 のとおり前回予想を上方修正いたします。

2. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回公表予想	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 26.00
今回修正予想		37.00	50.00
当期実績	13.00		
前期実績（平成25年3月期）	13.00	7.00	20.00

（配当予想修正の理由）

当社は、安定配当を基本としたうえで、中長期的には連結配当性向30%を目標として利益還元に取り組むという方針のもと、第2四半期末配当（中間配当）につきましては、期初予想どおり1株当たり13円とさせていただきます。

期末配当につきましては、前記のとおりインクジェットプリンター事業を中心とする戦略の進捗に加え、円安効果などにもとない通期連結業績が前回予想をさらに上回る見通しであるため、株主の皆さまへのより積極的な利益還元の観点から、前回予想の1株当たり13円を37円に上方修正いたします。

なお、これにより、1株当たり年間配当につきましては、第2四半期末配当と合わせて50円となる予定です。

以 上